

成果報告書の発刊に寄せて

日頃は徳島大学の教育、研究、社会貢献活動に関しまして、多くのご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成28年度から国立大学法人は第3期中期目標・中期計画期間に入り、昨年度、文部科学省は運営費交付金の在り方を検討し、「機能強化の方向性等に応じた重点配分」を行うために、予算上の三つの重点支援の枠組みを新設しました。これにより徳島大学は、一つ目の重点支援である「主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする。」を選択し、枠組みに応じた取組を全学で推進することになりました。

平成28年度は新たに生物資源産業学部を新設するとともに、総合科学部と工学部を再編し、文系中心の新総合科学部と理系の理工学部を設置し、6学部体制としました。さらに、研究力強化を目的として生命科学系の研究センターを統合し、先端酵素学研究所を新設しました。この研究所は、文部科学大臣により酵素学の全国共同利用・共同研究拠点として認可されています。

社会貢献の分野においては、平成27年9月、常三島キャンパスに地域創生・国際交流会館を新設し、地域と大学を結ぶワンストップ窓口などの新たな機能を付加した地域創生センターを移設し、近接の大学開放実践センター等の施設とともに本学の“地域連携ゾーン”として機能しています。

また、地域創生・国際交流会館の5階に国立大学として初めて設置したフューチャーセンター『A.BA』では、平成29年1月29日、平成28年度タウンミーティング「地域を創るフューチャーセンター～大学サテライトオフィスの新しいかたち～」を開催するなど、“多種多様な関係者が集まり、未来思考のアイデアや解決手段を見つけ出す”という新たな機能を駆使した様々な事業を展開しています。

なお、フューチャーセンター『A.BA』は、平成28年8月4日、日本で最も優れたオフィスを表彰する「日経ニューオフィス賞」において、「四国ニューオフィス推進賞四国経済産業局長賞」を受賞し、各方面から多くの見学者が訪れています。

徳島大学は学内全ての知的・人的・物的資産を活用し、地域課題の解決や地域再生、地域に貢献できるグローバル人材の育成など多彩な取組を推進するとともに、地域とのつながりを更に強化し、大学を挙げて社会貢献を推進してまいります。

このたび、これらの活動や各部署が実施した地域貢献に関する活動を成果報告書として取りまとめましたのでご覧ください。



徳島大学長 野地澄晴

徳島大学長の挨拶	1
徳島大学における地域連携事業・体制の概要	2
地域連携戦略室主催事業	
■タウンミーティング	
平成28年度タウンミーティング(第13回) 地域を創るフューチャーセンター～大学サテライトオフィスの新しいかたち～	7
平成28年度タウンミーティング 過疎と津波から地域を残すために～海山連携で新たな未来を切り拓く～	8
■地域交流シンポジウム	
平成28年度徳島大学地域交流シンポジウム(第13回) 伝統をメイク～3Dプリンタ出力した木偶(てく)を用いた阿波人形浄瑠璃公演と地方創生トーク～	9
■サテライトオフィスの取組事業	
那賀町地域再生塾	10
上勝学舎	11
美波町地域づくりセンター	12
にしあわ学舎	13
神山学舎	14
■徳島大学・明治大学・徳島県連携事業	15
■まちごとファクトリー	16
■LEDアート絆プロジェクト「徳島大学助任ワンダーランド」2016	17
■TEDxTokushimaU開催による地域イノベーションプラットフォームの開発と国際的な情報配信	18
■ガレリア新蔵活動報告	19
COCプラス推進本部主催事業	
文部科学省COC+事業とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム	20
地域連携の取組	
総合科学部	22
医学部	23
歯学部	24
薬学部	25
理工学部	27
生物資源産業学部	28
病院	30
病院・徳島県地域医療支援センター	33
大学開放実践センター	34
情報センター	35
国際センター	36
環境防災研究センター	37
地域創生センター	38
研究支援・産官学連携センター	39
徳島大学における地域連携事業一覧	40
報道記事に見る徳島大学の地域貢献事業	45